

宗教団体会費に支出も

豊島・自民区議団 政務活動費で

豊島区の自民党区議団(14人)が、政務調査・活動費を宗教団体の年会費や党の研修会費などに支出していたことが分かった。25日の区議会議員協議会で、古坊知生区議(無所属)が明らかにした。区議会の政活費取扱指針で認めていない支出に当たる可能性もあった。

り、区議会事務局は自民区議団に対し、過去5年分の収支報告書の精査を求める方針だ。支出は宗教団体の年会費や、党都連女性議員連絡協議会の研修会費など。1件当たり1000〜数千円で、複数の議員が政活費として領収書を提出していた。区民有志が201

1〜15年度の収支報告書を情報公開請求して判明した。自民党区議団の河原弘明幹事長は取材に「(会派で)まだ相談していないので」と、今後の対応を明言しなかった。新藤宗幸・千葉大名誉教授(行政学)は政活費の支出について「調査研究や行政のチェックが目的の議員活動に限定すべきだ。政党活動や宗教団体への支出はとんでもない」と指摘。「事前

に交付せず後で精算する仕組みにし(使途を)第三者機関でチェックすべきだ」と話した。豊島区は議員1人当たり月額15万円の政活費を、会派ごとに交付している。自民党区議団の政活費を巡っては、河原氏が役員を務める印刷会社に対し、活動報告チラシなどの印刷代として計約1000万円を支出していたことが判明している。【五味香織】